



発行所  
群馬県館林市尾曳町6-1  
群馬県立館林女子高等学校  
同窓会  
印刷所  
東京広告株式会社



ご挨拶

同窓会長 奥田和子

同窓会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、同窓会活動に対し、ご支援とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

咲き本当に楽しかった！また、来年も参加したい！との嬉しい声を頂きました。ぜひ、多くの同窓生の皆様に参加して頂き、幅広い年代の方々が楽しく集える会でありませう願っております。

昨年は、コロナも五類となり、四年ぶりに六月三日（土）に母校にて同窓会総会を開催することができました。総会では、館女マンドリン・ギター部の皆さんが素晴らしい演奏で花を添えて下さり、その優しく温かい音色に心癒され、素敵な時間をプレゼントして頂きました。卒業以来、四〇年、五〇年ぶりに母校を訪れ、初めて同窓会総会に参加された方もおられ、「館女での女子高生時代の思い出話にも花が

林町立実科高等学校として開校し、今年度で創立百七周年を迎えます。創立以来、二万九千名を超える卒業生を輩出し、多方面で活躍されています。昨年十一月の創立百六周年の開校記念式典では、舞台女優として活躍されている渡邊幸希子様にも、一人芝居を披露していただき、「失敗は到達への道標」と題して、ご講演下さり、生徒にエール

を送って下さいました。心より感謝申し上げます。

館女は、水と緑と花に囲まれ、素晴らしい自然環境に恵まれております。春には桜、ハナミズキ、ツツジ、菖蒲、そして、夏には城沼に蓮の花が咲き、秋の美しい夕日、冬には白鳥も飛来します。四季折々に美しい景色を見ることが出来ます。ぜひ、母校での同窓会総会に参加して頂き、楽しんで頂けたらと思います。

館女同窓会は、会員相互の親睦を図り、教養を高め、母校の発展に寄与することを目的に発足されました。同窓会活動を通じて、世代を超えた交流、親睦を図り、同窓生としての友情が深められたら幸いです。



不易流行

校長 小暮真之

今年度、着任二年目を迎えました校長の小暮真之です。本年度もどうぞよろしくお願いたします。

同窓生の皆様には、日頃から本校の教育活動の充実にご理解とご協力を賜り、ここで改めて感謝申し上げます。

思います。今後、生徒が充実した学校生活を送れるような行事等を推進していくとともに、時代に即した新しい活動を積極的に取り入れていくつもりです。

まず初めに、昨年度の本校の様子についてお伝えいたします。新型コロナウイルスの影響をほとんど受けることなくたくさんの方々の教育活動が行えたということでしょう。体育祭や球技大会を声出し等の制限をすることなく実施し、生徒もここ数年我慢していた大声を出して応援するなど、とても楽しい時間を過ごすことができました。また、部活動の発表会をすべて開催することができました。また、ボランティア活動にも積極的に生徒たちは参加いたしました。同窓生の皆様もこれらの場面で館女生の生き生きとした姿を目にすることがあったかと

さて、そんな新しい取り組みについて、同窓生の皆様にご報告がございます。それは、本校では制服のデザインを来年度から変更する計画を進めております。伝統と歴史のある制服を変えることに對し、事後報告になってしまふこと、非礼をお許しただくとともに、このような判断に至った経緯をここで説明したいと思います。

制服のデザインを変更するに至った最大の理由は、生徒を取り巻く環境の変化です。観測地点の変更により最近はやまやま騒がれなくなりましたが、館林の暑さはかなり厳しいものがあります。7・8月の暑さは以前よりもさらに過酷なものとなるばかりか、ここ数年、5月の時点で気温が30度以上

になる日が増加しております。また、10月に入っても30度以上になることもしばしばです。このような状況において、決して

通気性が良いとは言えない現在の制服は、生徒の体調面における心配が絶えません。そこで、より通気性に優れ、また

伸縮自在で学習する際にも着心地の良い生地の制服を導入できたかと考えました。二

つ目の理由として、今や世界の共通理解となつている多様性を尊重したデザインの制服

を本校も導入しなければならぬ時期に来ていると考えた

からです。数年前から本校でもスラックスの着用を認めてお

りましたが、既存の制服に合わせてデザインされたものではなく、

便宜的な手段であることとは否めませんでした。また、

自転車通学の生徒が多い本校では、安全性にも優れ、しか

も防寒性のあるスラックスの着用を希望する生徒が今後も増

えていくであろうことを踏まえれば、スラックスを考慮した制

服の導入する必要がありますとも判断いたしました。同窓生の皆様におかれましては、愛

### 希望にもえつほ、ゑみつ



教頭 久保田 茂

令和五年度末人事により、板倉高校から参りました教頭の久保田茂と申します。伝統ある本校に赴任することができ、大変光栄に思っております。どうぞよろしくお願

いいたします。実は、本校に赴任するのは二回目であり、四月一日に着任して見た光景が、本校を去

られることに寂しさを感じるのと

かと思ひますが、新しい制服にも今までの制服の良さと理

念は組み入れていく予定ですので、ご理解いただけましたら

幸いです。なお、7月に開催される文化祭で新しい制服を

披露していく予定です。楽しみにお待ちいただけますよう、よろしくお願

いいたします。結びに、今後とも、本校の発展のために引き続きご支

援を賜りますようお願い申しあげ、あいさつの言葉とさせていただきます。

る際に見た光景とほとんど変わらなかつたような感覚になりました。赴任当時は一学年七学級で

あり、創立八〇周年式典を翌年に控えた時期でした。ニュー

ーゼーランド語学研修、校舎の改修、四〇キロ強歩大会、

合唱コンクールなど、当時の

この数年は四月には桜が散

つてしまうような陽気でした

が、今年には校庭の桜が満開で、このたびの人事異動により、

ことさら緊張の思いで着任した自分を励ましてくれていたように感じておりました。退

生徒の活躍ぶりが思い起こされ、今でも良き思い出となっております。

さて、「不易と流行」という言葉の通り、学校にも脈々と受け継がれてきた独自の良

さはそのまま残しつつ、変えるべきは変え、令和の時代に

ふさわしい必要とされる学校であり続けることが肝要であ

ると思ひます。共学化が進む今日であっても、一定数の女

子校進学希望者がいることを考えれば、その希望者を受け

入れ、社会に貢献できる人材

ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

さて、長く続いた新型コロナウイルス感染症による影響

も、その取扱いが五類へと移行し、行動制限も解かれ、学

校での教育活動もコロナ禍以前の活気を取り戻してきております。また、今年度からの群馬県

の育成をしていくことが、本校の果たすべき役割と考えます。

入学者が本校校歌の「希望にもえつほ、ゑみつ」の歌詞のように、希望を高く掲げ、

達成のために努力する一方、穏やかに微笑むことも忘れな

い、そんな姿勢を持ち、本校三年間で人生の礎を築き、社

会に有用な人材となるよう、微力ながら努力してまいります。

教育振興基本計画)では、「子どものみならずすべての県民を『学習者』と位置づけ、人

が誰しも生まれつき持っている、自分と社会をより良くし

ようと願う意思や原動力(エネルギー)を発揮して、

自らの意志と選択で自ら学びをつくり、実際の行動に移せるようになるような教育」を

目指していくとしております。すべての県民に向けたこの計画は、社会全体を取り込

んだ教育ビジョンで、言い換えれば、県内外を問わずご活



ごあいさつ 事務長 浦野 和美

この数年は四月には桜が散つてしまうような陽気でした

が、今年には校庭の桜が満開で、このたびの人事異動により、

ことさら緊張の思いで着任した自分を励ましてくれていたように感じておりました。退

任されました菊地事務長さんの足元にも及びませんが、微

力ながら誠心誠意務めさせていただきますので、変わらぬ

躍されております同窓会の皆様にもお力添えをいただきたい、本校生徒のみならず、母校、そして群馬を育てて頂きたいというメッセージとも感じております。

今年度は、七月に文化祭も計画されております。本県の教育ビジョンも踏まえまして、多くの会員の皆様にもご



「館女を去るにあたって」

前教頭 猪瀬 康夫

参加いただき、広くその活躍のお姿をお示しいただくことが、このビジョンへの参画にもなると思っております。

結びに、今後とも本校教育活動へのご理解・ご支援・ご協力を頂けますよう努力いたしますので、よろしくお願いいたします。

はおれません。

教頭として再度赴任した令和四年四月、コロナ禍の中で

この度、教頭として二年間の職務を終えることとなりました。奥田会長様をはじめ、本部役員の皆様には大変お世話になりました。楽しく有意義な日々を過ごさせていただき、心より感謝申し上げます。

振り返りますと、平成十四年四月より、平成二十四年三月までの十年間、地理歴史・公民科の教諭としての勤務の間に、多くの同窓会の方々の出会いがありました。そして十年間の空白を経て、また本校にお世話になること自体が、運命的なご縁を感じずに

「お世話になりました。」

島田 敦子 (理科)

昭和53年3月に館女を卒業し、夜間短大に通いながら館女の実習助手として働き始めました。恩師に囲まれての新しいスタートはとても恵まれたものでした。

生徒から職員へ、同じ場所で立ち位置が変わり、順応するのが大変でした。それでも母校に勤務できるのは大きな喜びでした。

2年後、このまま仕事を続けるか他の道に進むか決断を迫られたとき、迷わず母校に残ることを選びました。恩師に指導を受けながら一つ一つ仕事を覚えました。

18歳で就職し64歳で退職するまで、今思えばあつという間だったと思います。

平成14年4月から24年3月までの10年間、他校に勤務し館女を離れましたが、その間に娘が3年間お世話になりましたのでPTA役員として関わりました。

同窓会の事務局として本当に長い間お世話になりました。総会、観劇会、文化祭と

様々な行事で一緒に過ごして頂きましたことは大切な思い出となりました。

多くの卒業生と手紙のやり取りをしました。日本全国、オーストラリア、イギリス、ウズベキスタン、ブラジル、フランスなどで活躍されている卒業生とメールで繋がっていた

令和5年 同窓会総会開催

亀田 敦子 (昭50年度卒・遠藤)

こと、色々なお話を伺えたことは私にとって貴重な体験でした。

館女は今年創立107年になります。多くの卒業生を送り出してきた歴史の重さを感じます。これからは、館女と同窓会の発展のために一同窓生として協力していきたいと思えます。同窓生の皆様、ありがとうございます。

令和五年六月三日土曜日。コロナ禍で三年間中止となっていました同窓会総会が、館林女子高等学校の大会議室で開催されました。

四年ぶりの総会は、同窓会会員五十一名と、小暮校長先生、同窓会担当の先生方の参加で行われました。久しぶりの再会に、皆さん笑顔で挨拶を交わし、談笑する姿が見られました。

三年間中止していた観劇会の今後の方向性についても、会員の方のご意見を聞かせていただきました。最後に、前同窓会長の仁田様よりご挨拶をいただきました。

十一時十分からは懇親会となりました。初めにマンドリン・ギター部の生徒による演奏を聴かせていただきました。

十時十五分から開会された総会は、奥田会長、校長先生より挨拶があり、議事も原案通り可決されました。また、

演奏をしてくれたのは、二・三年生二十八名でした。入部まもない一年生五名は横で見学していました。

「八木節」「マンドリンオー



ケストラのための合奏曲」他二曲を披露してくれました。美しい音色に心がふるえ、アンコールの拍手もなかなか鳴り止まず感動の連続でした。マンドリンギター部の皆さんありがとうございました。

その後、生徒会作製の学校紹介動画を視聴しました。人文字プロジェクトの様子、在校生の活躍の場面、インタビュウの様子等、見応えのあるものでした。コロナ禍で部活動の発表の場も制限がかかり、大変だったようですが、今後は存分に力を発揮し、より一層活躍して欲しいです。最後は奥田会長の指揮の下、全員で校歌を斉唱しました。しばらくぶりに歌う校歌でしたが、曲が流れると、皆さん当時に戻ったようにはつらつと歌っていました。

午前中の開催は、遠方の方には時間的にきついことや、会場が二階であるため、昇降が大変である等の問題点もありましたが、皆さんと顔を合わせて開催できたことが有り難いことであると思えます。

ご参加くださいました皆さま

### 創立106周年記念式典・記念講演会

【一人芝居】「妹の着物」川端康成短編集「掌の小説」より  
【講演】「失敗は到達への道標」

渡邊幸希子氏 (本校卒業生、劇団グスタフ女優、株式会社グスタフ取締役、脚本家ペンネーム わたなべ佳英)

令和5年11月15日(水)の午後、本校体育館にて創立106周年記念式典、記念講演会が行われました。

今年度の講師である渡邊幸希子氏による一人芝居は、一人で何人もの役を演じ、一人ひとりの役の演じ分けも素晴らしく、作品に引き込まれました。その後の講演会では、実体験を元に大変貴重なお話を聞くことができました。



ま、ご協力ありがとうございました。来年も母校で同窓会総会が開催できますことを願っています。



講師：渡邊幸希子氏

#### ◆プロフィール◆

平成4年3月：館林女子高等学校卒業

【経歴(抜粋)】

平成25年：ドキュメンタリー映画「初代県令 楢取素彦物語 生涯の至誠」楢取寿子役にて出演。

平成26年：同作品がヒューストン国際映画祭ドキュメンタリー歴史部門で最優秀賞作品賞を受賞。

平成27年：国の重要有形文化財・矢来能楽堂にて初の、能楽、演劇、殺陣、現代音楽の融合劇「夢幻能劇 野望の時」を上演。織田信長正室、濃姫役を好演。

平成30年：館林市主催徳川綱吉公シンポジウムにて公演。「勇気の人 徳川綱吉公」脚本・演出・主演・演技指導を務める。



## 開校記念式典・記念講演会に参加して

齋藤典子 (昭和52年度卒)

コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類移行となり気持ちも晴れやかな中、同年11月15日に開校記念式典及び記念講演会が母校体育館で行われました。コロナ禍ではリモート配信等様々な行動制限が強いられていました。卒業以来46年ぶりの体育館は大変懐かしい思いでした。

式典は国歌斉唱、校長先生の式辞は創立106周年の歴史の中で時空を超えた共通認識すなわち歴史は続いており、高校生活の充実等切り拓いてほしいとの言葉はとても心に響き印象深いものでした。

次に同窓会長の祝辞は、大正6年4月に開校6番目の高等女学校で3万人近い卒業生を送り出し、女性は社会を変え、また世界も変えろとグローバルな言葉でした。PTA会長の祝辞では、開校以来、時代の中で年号が変わり令和となり、地域の皆さんと校訓とこれからは女子高校生として活躍してほしいとのあたたかい言葉でした。そして、校歌斉唱では体育館正面横にある歌詞を見ながら生徒さん達と一緒に口ずさみ閉会となりました。

続いて記念講演会ですが、講演者は渡邊幸希子氏(本校卒業生・劇団グスタフ女優・取締役)で、渡邊氏は俳優活動・舞台とご活躍されており、特に一人芝居「妹の着物」は高い評価を受けられています。また、女優として役作りをし、舞台上で演じ日本の伝統文化の奥深さ、素晴らしさを継承すること、次世代を担う俳優の育成指導に力を入れておられます。そんな渡邊氏の記念講演会は、代表作の「妹の着物」(川端康成短編集「掌の小説」より)を一人芝居で演じたあと、講演を行うというものでした。

流れると、女子高生ならではの黄色い声が響き渡り若者のエネルギーを感じこちらまで熱くなりました。生の舞台を見る事はほとんど経験のない事ですが、目の前で一人何役の舞台を見る事ができ鳥肌がたつ程の迫力でした。

その後の講演「失敗は到達への道標」では、ご自身が現在に至るまでの経験談をお話されました。負の方向に流されずに自分を信じ人生を変えていく。未曾有の感染症のコロナが3年を経て、これからは皆さんの時代。先人が築いてきたものを自由な発想・エネルギーに変えていく。つまりずいた時は違うものを見つけ、やりたい事を夢につなげていく。経験談では、ダンサーとして渡米を考えたが腰を痛め、結婚し出産するがその後わずかでお子様を亡くし自殺を考えた事もあった。なげやりな気持ちで踊りが出来ないうなら芝居があると、早い段階で失敗や挫折を経験した事でいろいろな仲間と出会い大きな転機になったと話されています。今後は、東京ではなく館林に拠点をおき市民劇

団を作り観光資源として館林を芸術の街にしたいと考えていると。館女生としての誇りをもって社会に出ていって欲しいと。

失敗だと思ったら失敗、しかし、次に行けるステップとして進んでほしいと実のある経験談から貴重なお話を聞けたことは、在校生・同窓生に大きな道標となりました。これからの芸術文化の街「館林」実現のご活躍を楽しみにしております。貴重なお話し有難うございました。

### 「開校記念講演会について」

演劇部 3年 橋本晴留香  
11月15日の開校記念式典で、本校演劇部OGの渡邊幸希子さんによる「失敗は到達への道標」と題した記念講演会が開かれました。ご講演に先立ち、川端康成の短編集『掌の小説』の中の短編「妹の着物」をもとにした、渡邊さんによる一人芝居「妹の着物」の上演が行われ、私たち演劇部は、当日のお手伝いなど、とても貴重な体験をさせていただきました。

この上演では演技や準備も

含め、渡邊さんがあのステージに一人であつていることだけです。すごいと思いました。私は12月の予餞会で全校生徒の前で劇をするという初めての体験をし、緊張を越してとても気分が悪かったです。でも、渡邊さんは全校生徒の前で、一人にも関わらずとても堂々と上を向いて演技をしていらつしやいました。プロの人達は一人で立つて演技をしたり、更に多くのお客さんの前で長時間演技をしたりしていると考えると、予餞会での演劇は私にとって不安材料ではありませんでした。劇が終わった後で先輩や友達から「面白かった」といってもらえ、嬉しかったです。

渡邊さんと同じ景色を体験したからこそ色々考えが変わったのだと思います。予餞会の後で思うことは何事も挑戦してみないとわからない、失敗は嫌だけれども挑戦しないと成功もしないので、前自分よりもなにか一つでも挑戦することが増えるようになっていければと思うようになりました。

これも、渡邊さんの一人芝居のおかげです。今回は、お忙しい中お越しいただき感謝しています。この経験が私たちの将来の目標の糧にできるように頑張っていきたいと思っています。

### 「渡邊さんの話を聞いて」

演劇部 3年 江田奈菜子  
私は渡邊さんの話を聞いて、渡邊さんは人生で挫折をしたことが何度もあるが、そのときに大事なものは立ち上がることだということに共感した。なぜなら、私も同じような経験があるからだ。

私は中学生のとき、卓球部に所属していたのだが、とても弱かった。さらに、私は生まれつき腫瘍があり、夏休みに入院して手術をした。弱かったのに夏休みが終わっても練習が再開できず、やっと治って練習ができるようになった。夏休みの強化練習や数々の試合を経験した仲間にはなかなか勝つことはできなかった。しかし、諦めず自分なりに頑張る練習を積み重ねた結果、引退前最後の大会ではそれまでで最高の記

録を残すことができた。途中で辛いこともたくさんあったが、退部せずに最後までやっけて良かったと思えた。そうした経験をしたあとに今回の話を聞き、改めて挫折したときは立ち上がることが大切だと実感した。

そして、挫折や失敗はジャンプ台にして、次にぶつかった困難を乗り越えるために使える。もしかしら、そのジャンプ台がなかったら越えられなかったかもしれない。つまり、挫折や失敗をしたからこそ得られる結果もあるということだ。だから、私は立ち上がったならそれを糧にして次に生かすことも、立ち上がるべき挫折や失敗を経験することも必要だと思った。

私はこれから多くの困難に立ち向かうことになるだろう。そのときは、この話を思い出して乗り越えていきたい。



## 旧職員より同窓生へ

## 「30年前を振り返って」

小林 達也 (教科・英語)

館林商工高校から館林女子高校へ平成5年に赴任しまして、8年間お世話になりました。館女は初めての女子高ということもあつてとても緊張して赴任したことが思い出されます。授業に行きますと、そこには女子生徒しかいないわけでありまして、「本当に女子高に来たんだな」と実感した次第です。ほとんどの生徒が朗らかで、積極的に学習に取り組み、学校生活を充実させようとしている姿勢がありました。私のつたない授業も居眠りはあまりせずに受けていた生徒がほとんどで、「何を教えようか」と教材研究にも力が入りました。

部活動は前任校でも担当していた卓球部の顧問にさせていただき、団体ではベスト8、個人ではベスト32を目標に切磋琢磨していたことが思い出されます。ある二つの学年は先輩と後輩の垣根を越えてとても仲が良く、卒業後も

定期的に同窓会を開き、近況を報告しあうなど親交を深めてきました。最近は何かに忙しくなった部員も多くなつたため、一時休止しています。が、また再開する日を楽しみにしています。

当時はニュージールランド語学研修が春休みにありまして、英語コースの生徒を優先的に派遣するというものでした。平成10年(1998年)北島のオークランドの南にあるプケコヘ高校で12日間ホームステイをして学校に通い、授業を受けたり、近隣を巡ったりしての研修旅行でした。引率は武倫夫先生(理科)と一緒に、二人であれやこれやと模索して研修旅行が有意義なものになるようにと考えていました。毎朝、武先生は「コバタツ、朝だよ」と起こしてくれらるとてもいい人でした。帰校したときに南面駐車場に迎えに来てくれた当時の教頭先生に、「毎年、この仕

事をさせてください。」とお願ひしましたが、そつけなく断られたことが今でも忘れられません。

2度目の担任をした時は、同時に学年主任を仰せつかり、どんな学年にしていこうかと考え込んだことが思い出されます。(当時の学年主任は、今とは違って担任も兼務していました。)朝の学年の打ち合わせをしてから、HRで生徒への連絡をするわけですが、すでに職員の打ち合わせで一度済ませているので、生徒への連絡もしたものと勘違いをし、委員会の集まりや諸連絡をしそくなって、生徒に迷惑をかけたことも多々ありました。でもそこは心優しい館女生。笑って許してくれました。

学校の仕事以外にも、「ぐんま少年の船」の引率をしたこと、チェコへの研修旅行に行ったことが館女生活を彩ってくれたものになりました。末筆ではありませんが、同窓会の皆様の今後益々のご活躍と、ご多幸を祈念いたします。

初めての企画  
「館女まつり」

館女学実行委員

3年 宇治川希依

私達館女学実行委員会が開催した、「館女まつり」が令和5年9月16日土曜日に行われました。「館女まつり」は、地域の魅力について気づくこと、知ってもらふこと、そして地域の人との交流を深めるというコンセプトで企画・実施されました。

結成した当時は、「館女まつり」というイベントも存在していなくて、まだ何をしたいのか、よくわかりませんでした。でも、毎日活動して行く中でさまざまな課題が見えてきました。

「館女まつり」をしようと考えた日は、6月に入ったばかりの頃でした。それぞれの仕事を会議で決め、各自で行動・共有・改善という作業を繰り返しました。毎週水曜日の放課後集まり、限られた時間の中で意見を交換しました。あつという間に夏休みになり、なかなか全員が集まら

ないため、クラスルームのMeet機能を使って夜に会議をしたり、ドキュメントを多く用い、共有し共同作業をしたりするなど工夫しながら行いました。また、映画祭を開催するにあたって、2つの企業団体と協力することになりました。外部の企業との活動は初めての経験だったため、緊張しましたが、同時にわくわくもしていました。企業団体との打ち合わせでは、自分たちの計画したこと、目的、必要なものを話し合い、たくさんのご指導をいただきました。一方で、多くのことを学びました。例えば、計画の立て方、台本の作り方、わかりやすく伝えるためのコツなど、とても勉強になりました。

そして当日を迎えました。本番では、とても緊張しましたが、来てくれた方に楽しんでもらえるのか、満足してもらえるのか不安でいっぱいでした。でも、始まってみるととても心が救われ、大成を取られました。準備期間が短く忙しかったことも、本番





ではそんなことも忘れてしまいうくらい楽しくやり遂げられて、とても嬉しかったです。初めてこのようなイベントの企画・運営などに携わって、たくさんの方がついたらと思います。準備期間では味わえない、達成感や嬉しさ、また友達との仲も深まったと思います。友達のお客さんとの接し方など、すごいなと感じたこともあり、学びを得つつ楽しみながら実施できました。

今回、この企画に携わってくださった、ケーブルテレビさん、SORANOMONシスターさん、クロツフルキッタンカーCOCOさん、キッタンカー台宿さんには感謝の気持ちでいっぱいです。また、私達と一緒に企画と準備

をしてくださった先生方にもとても感謝しています。

最後に、私達に成長の機会を与え、地域のために取り組んでくださった全ての方々、本当にありがとうございました。この活動で学んだことを活かして、学校生活や将来も頑張りたいと思います。

### 「高校演劇 東毛地区大会にて」

演劇部 3年 菊地 玲那

今回、東毛地区大会にて創作脚本賞を受賞できました。

歴史もの好きだった私が、男性の活躍する時代劇を逆手にとって、女子だけで演じる脚本を作れないかと考えたことが脚本創作のきっかけです。そこで、上杉謙信女性説を利用したラブコメディを考えた。時代劇という難しいジャンルでしたが、その分観客にアピールできると思いました。初めての脚本執筆に挑戦したのです。しかし、当時の言葉遣いや服装など、考慮すべきことが山のようにあり、非常に難しい挑戦をしたと思います。行き詰まったときには、部員や国語の先生



に頼ったりして、完成まで三、四ヶ月もかかってしまいました。

大会準備では、刀や着物などの小道具は自分たちで調達し、甲冑は安価なダンボール製を工夫して仕上げました。演技の練習に関しては、演者がキャラクターを自分の中に取り込んで演じることが何よりも大切ですが、特に男子特有の動きや声をどう表現するか研究し練習に励みました。大会当日は、本番が始まってしまおうと一瞬のようでした。いつも失敗していたところでも、一人ひとりが臨機応変にセリフや動きをいれることができました。後悔の残るところは多くありますが、このメンバーで演劇をやり遂げることができたことをとても嬉し

く思っています。また、今回の脚本創作で、脚本とは、照明や音入れ・舞台セットなどにも気を配りながら、演者や裏方の活躍をアシストし輝かせる道具にすぎないということが実感できました。

最後に、関わってくださった皆様に深く感謝申し上げます。受賞の報告といたします。

### 母校へ電動噴霧器寄贈

令和五年六月、同窓会は母校に電動噴霧器を寄贈しました。

同窓会の樹木等管理費の中から、購入しました。「たまちゃん号」と名付け、公仕さんが館女の環境整備に使用していただきます。いつもきれいにしています。



### 令和六年度 人事異動

- 【退職】  
 菊地 隆 事務長
- 【任期満了】  
 島田 敦子 理科  
 小林 達也 英語  
 伊藤紗由樹 英語
- 【転出】  
 猪瀬 康夫 教頭  
 西邑楽高等学校  
 金澤 則明 数学  
 前橋工業高等学校  
 石原 正之 数学  
 桐生清桜高等学校  
 田口 慶太 国語  
 大泉高等学校  
 奈良原昌樹 公民  
 太田工業高等学校  
 奥野 博 数学  
 高崎女子高等学校  
 前田 知樹 音楽  
 前橋南高等学校  
 穂川 苑子 保健  
 渡良瀬特別支援学校
- 【転入】  
 久保田 茂 教頭  
 板倉高等学校  
 浦野 和美 事務長  
 太田女子高等学校  
 高田 慎也 数学  
 新田眺高等学校  
 横塚 利嘉 保健  
 桐生高等学校  
 入谷 彩香 国語  
 館林高等学校定時制  
 中山 友高 公民  
 伊勢崎市立西ツ薬学園中等教育学校  
 木村友希乃 音楽 新採用  
 栗原草太朗 数学 新採用  
 栗原 宏彰 情報  
 松井 洋輔 保健  
 桐生工業高等学校定時制  
 栗本 彩 理科  
 森田 規子 英語  
 太田東高等学校  
 竹内 恵子 英語  
 太田フレックス高等学校  
 中島 正美 理科  
 桐生市立商業高等学校  
 上田 裕信 数学

